

令和 6 年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 6 年 8 月 13 日作成

大 学 名 : 新潟県立大学

タイトル : 『海の向こうで起きてること』

1. 本ワークショップに関連する SDGs の目標に○印をつけてください。

○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標
	 ①貧困をなくそう		 ⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに		 ⑬気候変動に 具体的な対策を
	 ②飢餓をゼロに		 ⑧働きがいも 経済成長も		 ⑭海の豊かさを 守ろう
	 ③すべての人に健康と 福祉を		 ⑨産業と技術革新の 基盤をつくる		 ⑮陸の豊かさも 守ろう
	 ④質の高い教育を みんなに		 ⑩人や国の不平等 をなくそう		 ⑯平和と公正を すべての人に
	 ⑤ジェンダー平等を 実現しよう		 ⑪住み続けられる まちづくりを		 ⑰パートナーシップ で目標を達成しよう
	 ⑥安全な水とトイレを世 界中に		 ⑫つくる責任 つかう責任		

2 : 本ワークショップの要旨

現代において戦争は決して過去のものではなくなっている。戦争は、国際社会問題や経済面での被害を及ぼすだけではなく、個人のアイデンティティや文化の喪失ももたらしてしまう。本ワークショップでは戦争が起きる理由、自分たちの生活は戦争とどう関係しているのかを考えてもらい、問題を自分事として捉えてもらうことを目標とする。

3 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

本ワークショップでは、写真やゲームを通じて戦争の現状や影響を知ってもらい、ロシアウクライナ戦争と日本に住む私たちがどう関係しているのかを感じてもらうことを目標とする。また、生徒同士や生徒とファシリテーター同士の交流を通じて、自分で問題について考える過程を経験し、他の人と意見を共有することの楽しさについて知ってもらう。

4：本トピックをとりあげる理由

現代においても戦争が起き、国際社会に影響が及んでいる。このことは、グローバル化が進んでいる現代社会に暮らす自分たち日本人にも様々な影響をもたらしており、決して他人事ではなくなっている。学生たちにも当事者意識を持って戦争について考えてもらうことで、平和な社会の実現に貢献できると思い、このテーマを取り上げた。

5：活動過程 （使用時間： 110分 参加人数： 49名 ）

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
--------------	------	--------------------	-----	---------------	---------------------

<p>導入 :起 (___分)</p>	<p>アイスブレイク</p> <p>導入</p>	<p>うそ？ほんと？ 自己紹介 ⇒それぞれが自分で嘘の文章を1つ含んだ自己紹介文を3つ発表し、どれが嘘の自己紹介かを見抜いてもらう</p> <p>ロシアとウクライナの地理、文化について説明 ⇒戦争の現状について触れる</p>	<p>生徒同士、生徒とファシリテーター同士の交流を深め、発言しやすい環境を作る</p> <p>その国と戦争について知識を深めてもらう</p>	<p>ペンと紙</p> <p>パワーポイント</p>	
--------------------------	--------------------------	--	--	----------------------------	--

		<p>4. 同じ予算を使ってもう一度買いに来てもらう ⇒しかし、値上げをしていて買えない!</p> <p>5. 代表者は班に戻ってどうして買えなかったかを考えてもらう</p> <p>6. あみだくじを配り班でやる ⇒選んだ結果を付箋に書いてもらう</p> <p>7. ギャラリーウォーク</p> <p>8. パワポでそれぞれの結末をファシが発表</p>	<p>が選んだ結末が国の輸入にどのような影響を与えるのか体験してもらうことができる。</p>		
<p>まとめ : 結 (___分)</p>		<p>戦争の現状と輸入の観点から見た生活との関係を振り返り、平和や支援のために、自分たちにはどのようなことができるのかをまとめる</p>	<p>導入とレクチャーで学んだことを自分たちの生活と結び付けて考えてもらう</p>	<p>パワーポイント</p>	

6：会場のセッティング（対面の場合のみ）



黒板



パソコン、進行役

班に一人ずつファシリテーターがつきます



7：使用する教材

- ・ パワーポイント
- ・ ポインター
- ・ ベル
- ・ ハンドアウト(ヒントシート)
- ・ ワークシート(あみだくじシート)
- ・ お金カード
- ・ 輸入品カード
- ・ 付箋
- ・ ペン
- ・ 筆記用具

8：参考にした資料

- ・ 井川洋一(2022)『ウクライナ代表は「戦禍という視点抜きでも好チーム」だった… W杯の夢が消えて主将・ファンが号泣「あなた方のサポートが必要だ」』Number web, 2022年6月7日 <https://number.bunshun.jp/articles/-/853505>
- ・ The guardian(2023)『Let Russian soldiers into Games, says UN expert』MAGZTER, 2023年3月28日 <https://www.magzter.com/stories/newspaper/The-Guardian/LET-RUSSIAN-SOLDIERS-INTO-GAMES-SAYS-UN-EXPERT>
- ・ Sophia Ankel(2022)『ロシア、避難させたウクライナ人10万人近くをシベリアや北極圏などに強制移住か』BUSINESS INSIDER, 2022年4月13日 <https://www.businessinsider.jp/post-253028>
- ・ 平田雄介(2022)『ウクライナ難民が500万人突破』産経新聞, 2022年4月20日 <https://www.sankei.com/article/20220420TSGS4TJTIRNM3P52HLNBB3RWBI/photo/NF5DSXDFYNKFDI P36MANMICSGY/>
- ・ 産経新聞(2022)『ウクライナ教育施設「2千カ所」破壊 大統領、修復誓い国民鼓舞』2022年7月17日 <https://www.iza.ne.jp/article/20220717-LOYANTHXMNCLP3HUKQGXRJVZE/photo/AVA2EEKC3BL6JBVZ7FAMB63BIU/>
- ・ Tara John and Maria Kostenko(2022)『The race is on across Ukraine to build new bunkers. Not

for soldiers on the front lines, but students in schools』CNN world, 2022年8月23日
<https://edition.cnn.com/2022/08/23/europe/ukraine-schools-six-months-cmd-intl/index.html>

- 読売新聞オンライン(2023)『「ありがとう日本」ゼレンスキー氏がビデオ演説…岸田首相のブチャ訪問に「勇気示すことは重要」』2023年3月22日 <https://www.yomiuri.co.jp/world/20230322-0YT1T50083/>
- ユニセフ(2022)『ウクライナ危機 100日毎日2人以上の子どもが死亡 子どもたちへの壊滅的な影響に警鐘』2022年6月1日 [ウクライナ危機 100日 毎日2人以上の子どもが死亡 子どもたちへの壊滅的な影響に警鐘 \(unicef.or.jp\)](https://www.unicef.or.jp/press/20220601/ukraine-crisis-100-days-2-children-die-every-day-impact-on-children/)

9 : その他

パワーポイントを使用したワークショップになるので、パソコンやスライドを使用できる環境を用意していただきたいです。また、グループ活動になりますので、事前に一班六人から七人の班を作ってください。

その他の不明な点につきましては、事前の打ち合わせの際に確認したいと考えております。